



園だより 7月

令和7年6月30日

千代田区立麴町幼稚園

園長 木村 恭子

ワクワクを広げながら

園長 木村 恭子

5月の園だよりで“今年のテーマはワクワク遊ぶ!イキイキ動く!です”とお伝えしました。さて今学期、ワクワク!イキイキ!な遊びの展開は実現できたでしょうか?



迷路のゴールは海の中

〇ワクワクする遊びを次々生み出す5歳児そら組。遊びの中の学びはどのように深まり、広がっていくか?は本園の今年の研究の主軸でもあります。6月の園内研究日には、降園時刻変更のご協力、ありがとうございました。そこで着目された遊びの一つ「迷路づくり」は、今ではゴールに滑り台を置き、海の世界に発展し、さらには客の招待を計画——ワクワク!を広げながら進行中です。日本女子大学特任教授、桑原淳子先生のご指導のもと、もっと楽しく!面白く!遊びの世界を一步先へ進める力を育みます。

〇東京すくわくプログラム第二弾は6月18日。今年も大妻女子大学教授、石井雅幸先生をお迎えして身近な自然環境を探究します。当日、真夏のような暑さの園庭は、虫たちも活動休止のように見えました。ところが、小さな園庭でこんなにも多様に自然と出会えるのかと、驚きいっぱいになりました。活動時間中、「石井先生!こっち来て!見付けた!」が鳴りやまない、4歳児やま組の子どもたち。目を輝かせ、次々と発見のアンテナを伸ばす姿には、こちらまでワクワクが高まります。子どもたちにとって、園庭は自然の宝庫!と価値も更新されたことでしょう。



ヤスデを見付けた!
触ると臭いのを出すんだって
石井先生が教えてくれたよ。

〇絵の具でアジサイを作り、体育館ではかけっこ。テラスのプール遊びなど……1学期終盤も、「初めて」の出会いが続き、ワクワクと経験を広げる、3歳児はな組です。よく見ると、その経験を支える一つは集団生活を営む習慣。列の前が詰まっても押さない。合図までプールの周りで待つ。トランポリンは2人ずつ……。知らず知らず、少しずつ、そうしたほうが自分も楽しい、みんなと楽しい、を感じてきたのではないのでしょうか。ワクワク!イキイキ!の充実には欠かせない力です。楽しい遊びの経験と同じくらい大切な出会いを、「初めて」ならではの素直な吸収力で学んでいます。



順番、順番。

〇6月16日には、「すてきななかまっ子 ミニ音楽会」を開催し、やま組、そら組の子どもたちが歌やピアノ演奏を鑑賞しました。多くの保護者の皆様のご参会に感謝いたします。オペラ歌手の志摩大喜先生より「ぜひ麴町の子どもたちに音楽の世界を届けたい」とお声をかけていただいたの実現です。温かな地域とのつながりを広げることができ、とても嬉しく思っています。

まもなく夏休みを迎えます。今年も「夏期ラジオ体操会」や「納涼こども会」が校庭で催されます。開催にご尽力くださる地域の方との触れ合いは、子どもたちのワクワク!イキイキ!もパワーアップさせることでしょう。地域とのつながりから豊かな経験がさらに広がる機会となるよう、ご家族での参加をお待ちしています。どうぞよろしくお願いいたします。